

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : グループホーム ふれあい家族の家  
 作成日 : 平成26年1月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	入居者の急変時及び想定できない事故が発生した際に速やかな対応が行えるかが課題である。また、夜間帯は1名で対応を行っている。	入居者の方へ不安なく生活を送れる環境作り及び職員各自のリスク管理の認識を高める。	地域開催災害訓練参加。消防署及び外部講習等に参加を行う。講習参加後の振り返りをユニット会議で行い。職員周知を図る。また、マニュアルの見直し検討を行っていく。	12ヵ月
2	38	重度化に伴い、個人を尊重した対応が行えない場合が多岐に見られている。職員の各自の負担も増し業務に追われ、その人らしいペースでの支えができない事がある。	その人のペースを踏まえたサービスに心掛け、業務及び月予定表(受診・行事等)の見直しを行う。	業務内容の見直し。月の予定表の見直し(受診・各種行事)を行い、職員各自が業務及び月の予定に追われ精神的な負担軽減に努め、個人を尊重した体制の整備を行う。	6ヶ月
3	40・41・42	重度化に伴い、嚥下状態の悪化が懸念される。重度化に伴い口腔ケア、食事介助で対応を行う比率も増えている。高齢者の肺炎の発生比率も高い事を踏まえ体調管理の継続が課題である。	嚥下性肺炎の予防。食事が食べれる喜びを継続する。	嚥下状態及び口腔内の観察。管理栄養士から助言を行い、献立表の見直し。体重の変動を踏まえかかりつけ医へ相談。適宜、訪問歯科診療との連携を図り、対応を行っていく。	12ヵ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。